第２回「もんじゅ」学習会

福井県敦賀市にある高速増殖原型炉「もんじゅ」は 1995 年（平成 7）年 12 月 8 日、ナトリウム漏洩火災事故を起こし、14 年５ヶ月停止していましたが、岐阜県議会の意見書や住民の抗議、関西の市民グループの抗議、廃炉を求める国民の声にも関わらず 5 月 6 日に運転を再開しました。

再開後、運転の方法を知らない運転員がいたり、壊れた部品を交換するだけで原因を究明せず放置し、いつ停止したか分からないが気付いたら止まっていた計測器など等、考えられない事態が続いています。
5 月 22 日（土）の「もんじゅ」学習会で講師の伴さんは、トラブル続発の理由を品質管理体制の不備、寄せ集め部隊、14 年前の連絡体制が改善されていないと指摘されました。

「もんじゅ」と岐阜の関わりは？

若狭の風下の岐阜や愛知、そして核燃料輸送など私たちの地域と

「もんじゅ」との直接の関わりがテーマです。

講　師：　伴　英幸さん（原子力資料情報室共同代表）

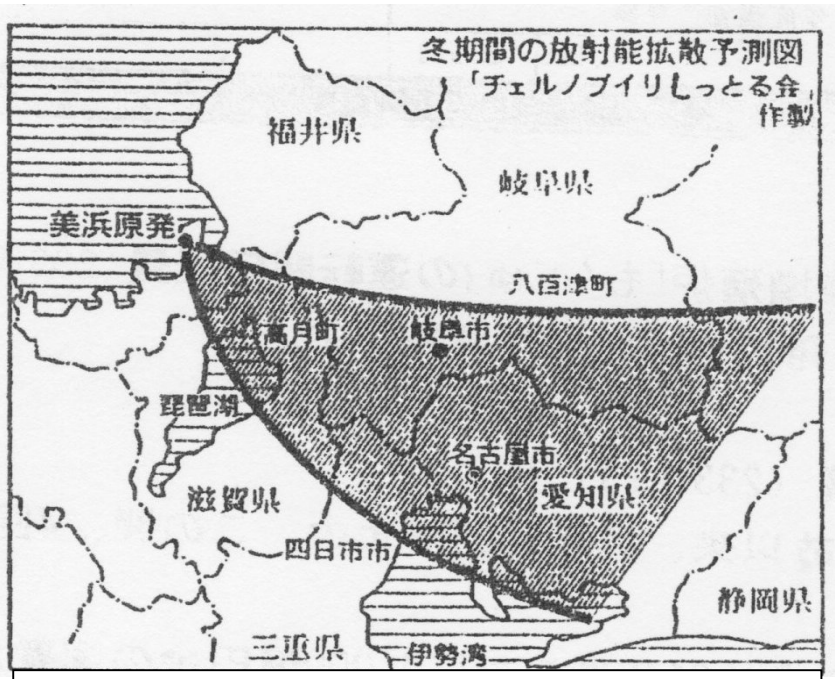
日　時：　2010 年 6 月 25 日（土）14:00～16:00

会　場：　岐阜市ハートフルスクエア-G　2階　研修室 50

ＪＲ　岐阜駅構内２階　東に２分（岐阜市橋本町 1-3-10　岐阜市生涯学習センター内）

資料代　500 円

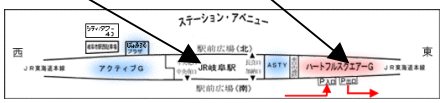
【講師紹介】 1951 年三重県生まれ。原子力資料情報室共同代表・事務局長、もんじゅ総合評価会議を組織、原子力委員会新計画策定会議委員を務める。
【著　書】 『原子力政策大綱批判』（七つ森書館）共同執筆：『検証東電トラブル隠し』（岩波ブックレット）、『JCO 臨界事故と日本の原子力行政』（七つ森書館）雑誌など多数



「3時間後　岐阜へ　美浜から飛ばした風船届く
予想以上の速さに驚く」（朝日新聞 1988 年 4 月 22 日）

左の地図は 1988 年 3 月 20 日　岐阜県内のグループが、福井県美浜町の美浜原発がある水晶浜から飛ばした風船が、滋賀県や岐阜県内で拾われたことを報道した記事の一部です。
「もんじゅ」は水晶浜の東　5～6 キロの距離です。

ＪＲ岐阜駅とハートフルスクエアーG



※　主催　放射能のゴミはいらない！
市民ネット・岐阜
連絡先 080-5113-2313 兼松